

UCDA

一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(福田泰弘理事長、UCDA)が、生活者の声を集めて情報の分かりやすさを評価する組織として10月に設立した「Another Voice」(以下、アナザーボイス)はこのほど、第1回自主評価

生保6社のパンフレットを評価

「Another Voice」設立

活動を実施し、生保6社の医療保険パンフレットの評価結果を発表した。

生活者の声を集める取り組みは、各種調査会社やマーケティング



会社などでもモニター調査として行われているが、アナザーボイスは、UCDAがこれまでの研究で培った技術を活用して、定量的な分析結果を提供する点が特徴。

今回の調査結果では、評価コーナーディネーターと40代から60代の男女6人の評価員が医療保険などのパンフレットについて意見を交換。併せて、6人の視線の動きを追って、視線の順序、滞留時間、移動距離、移動速度を、赤外線を利用して計測する「視線追尾調査(アイ・トラッキング)」なども行なった。評価コーナーディネーターからは「今回の評価では、限定された内容を簡潔に表現したパンフレットの評価が高いといえる」としている。

結果の詳細は、「Another Voice」特設ホームページ(http://www.another-voice.jp)「写真Ⅱ」で公表している。